

ココがこう変わります！

連続立体交差が可能になり踏切が高架化すると

check
point!



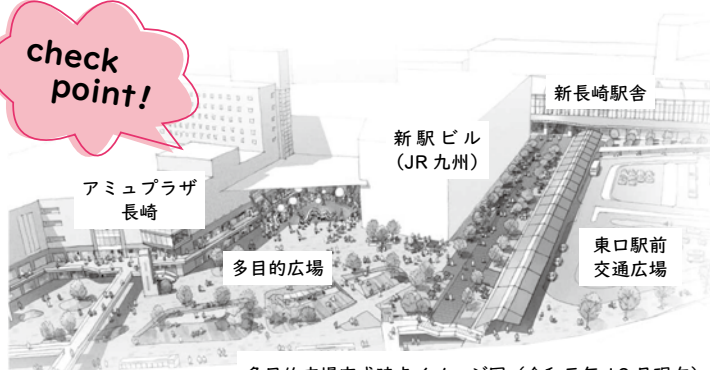
(例) 梁川橋踏切

鉄道が高架化すると、幸町、宝町、梁川橋、竹岩橋の4つの踏切が撤去され、地上部分を人や車がスムーズに移動できるようになることで、東西の街が一体化し、踏切による交通渋滞や事故が無くなります。



長崎駅前広場ができると

check
point!



多目的広場完成時点イメージ図 (令和元年12月現在)
※今後変更になる可能性があります。

新駅舎は、現駅舎から約150m西側へ移動しますが、新駅舎の東口・西口に交通広場や新しい道路が整備され、駅舎へのアクセスが向上します。また、東口に新たに整備される多目的広場は今の高架広場の3倍以上の面積になり、長崎を訪れる観光客や市民との交流やにぎわいが生まれ、おくんちなどのイベントの開催や、憩いの空間として楽しむことができるようになります。

長崎駅周辺整備のデザインに携わった林先生にお話を伺いました

次の世代へ
誇れるまちづくりを



はやし かずま
林 一馬氏
長崎総合科学大学
名誉教授

令和4年の新幹線の開業に合わせ、より多くの来訪者を受け入れるため、駅の周辺でいくつもの取り組みが進んでいます。中でも新たに建設しようとしている長崎駅は世界でも類を見ない海に開かれた駅。長崎駅に降り立つと、誰もが歴史ある長崎港を見通すことができます。

これまで、関係団体と約5年間の期間をかけて「利用者に喜ばれる駅」「長崎の魅力が伝わる駅」を目指し、駅の建設に向けて取り組んできました。これから建設される長崎駅は都心部の新しい顔となります。

次の世代に誇れるまちを。誰もが訪れたいなるまちを。新たなにぎわいを創るため、「陸の玄関口」が今、生まれ変わろうとしています。

3月28日

特集

市民

市政

プレゼンター

生活情報

子育て

健康・福祉

被爆者援護

講演講座

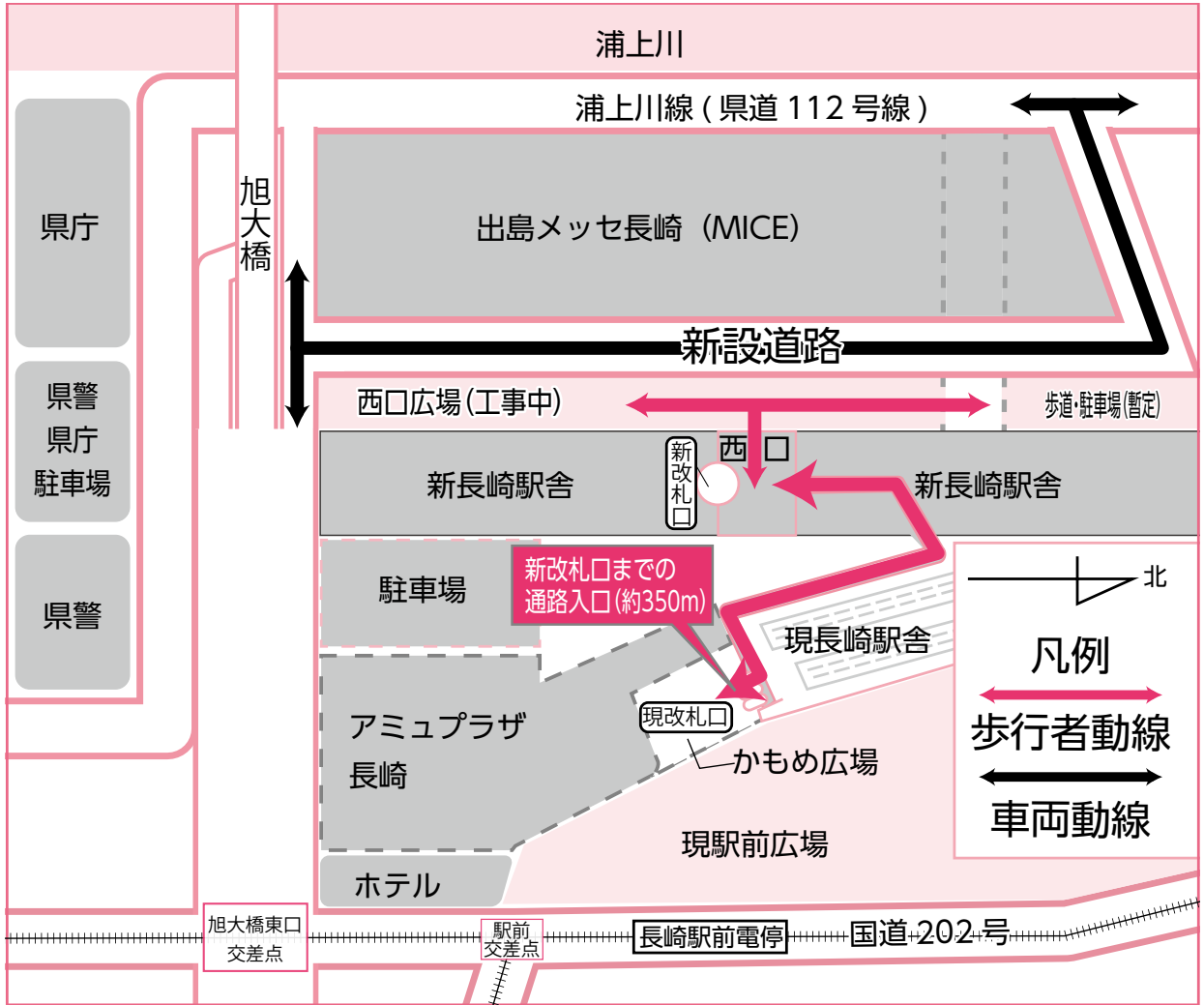
もよおし

おしらせ

募集

長崎駅開業に伴う仮設歩行者通路のお知らせ

3月28日（土）から、JR長崎本線（長崎駅～浦上駅間）の高架化に伴い、新長崎駅舎が西側（浦上川方面）に移動します。しばらくの間、下図のように仮設歩行者通路を通して、新駅舎へアクセスすることになります。なお、西口駅前広場と新設道路（長崎駅西通り線）ができ、西側からのアクセスも出来るようになります。工事期間中はご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



時代の先をみた
まちづくりを

これからもたくさんの方で長崎がにぎわうためには、長崎の歴史や文化、まちなみなど、長崎らしい魅力を多くのかたに知ってもらい、長崎を訪れる人々を増やしていく必要があります。

その中で、長崎駅周辺の「陸の玄関口」の進化は重要な要素のひとつです。

長崎は100年に一度と言われるほどの大きな変化の時期を迎えています。松が枝埠頭に2隻のクルーズ船が停泊できる計画も進み、「海の玄関口」も変わろうとしています。また、まちぶらプロジェクトでは、まちなかにおいて、さまざまな人と連携して、まちづくりを進めるなど、これまで以上にまちの「母屋」に磨きをかけていきます。

さまざまなお取り組みが同時に進んでいます。また、まちなかとして暮らしやすくするために、これからも着実に一歩ずつ、次の時代に向けてまちづくりを進めていきます。